

走逆鉄下地 運転士と車掌が逆運転台に 新幹線走らせた 社会人になれた



2010. 4. 4

JR東海労東二運分会

みなさん 読みました～？ - (1)

4日の新聞に昨年9月に大阪の地下鉄で運転士と車掌が逆の運転台に乗り込んだことに気づかず発車して逆走し、突き当たりの壁200メートル手前で自動列車制御装置が動作して緊急停止し、という記事がありました。運転士は、「出発前の点呼で時間がかかり、焦っていた」と。

オット！「出発前の点呼で時間がかかり、焦っていた」と言えば、以外と近くにも同じようなことがしばしば見られます。「それでは、モード切り替え」、で始まる例のやつです。それも、特定の乗務員に集中していて異常な感じがするやつです。ただ、気になっているのはその対象乗務員だけではなくクルーや後ろで待機の乗務員も同じです。

特に運転士は大変で、質問の主旨が分からなかったり全てを思い出せない、「大事なことです。運転は大丈夫ですか」と言われ、焦って思わず「不安です。乗れません」と言いそうになるとか。

みなさん 読みました～？ - (2)

新聞と言えば3日の新聞にはこんな記事が。「午後5時9分。東京発博多行き のぞみ53号 は定刻通り新横浜駅を出発した。さっきまで隣にいた助役はここで下車した。乗務員室の中はひとりだけ。」-略-「米原を過ぎた頃、突然 プーと輸送指令からの電話が鳴った。勢いよく取った電話は、車内連絡用の受話器だった。」-略-「新大阪まで2時間17分の一人旅。やっと社会に貢献できた。社会人になれた。」-略- と。(ゴシックは筆者)

記事は、昨年入社で総合職採用の運転士が初めて一人で乗務(?)した時の様子を実名で載せたものです。53Aは東二輪持ち。待てよ？ 助役のいない車内はひとりだけのはずですが、一体誰が運転の様子を見てたのでしょうか？ 広報か運用課か、それとも事後に本人が取材に応じたのか。いずれにしてもJR東海が了解したからこそ掲載が実現したのです。運転台の何とも微笑ましい一コマではありませんか。

そういえば3月の中旬に、ある指導助役が ヒヨコたちが乗り出した、と言っていたのを思い出しました。

「ヒヨコたち 歩き出しても ダメ逆走」 C D 頑爺